

LICENSE GUIDE

測 量 士 補



数学が苦手な方でも大丈夫!
東京法経学院が効率的な
合格方法を教えます。

1
SOFURYOUSHO

測量士は聞いたことがあるけど……… 「測量士補」って

「測量士補」とは、測量法に基づき基本測量または公共測量に従事することができる資格者です。また、測量法において「技術者として基本測量または公共測量に従事する者は、法の規定に従って登録された測量士または測量士補でなければならない。測量士補は、測量士の作成した計画に従い測量に従事する。」とその任務が規定されています。測量士との違いは、測量士補が、測量計画を作成できない点にあります。この規定からすると、両者には上下関係があると思われそうですが、実際の現場ではほとんど差異はなく、測量士補でも経験豊富な者は測量士の技術を凌ぐことさえあります。

2
SOFURYUSHO

土地家屋調査士午後の部試験免除の切り札!!

測量士補資格取得者は、土地家屋調査士試験において午後の部試験が免除されます。土地家屋調査士試験は、午前部と午後部とに分かれており、同時に突破するのは至難の業です。そこで、比較的取得しやすい測量士補試験に合格し、午後部の試験免除資格を取得する土地家屋調査士受験生が大多数です。なぜなら、午前部の試験のみに集中することで勉強の効率も上がり、実際の試験においても午前に全力でぶつかることができるからです。

3
SOFURYUSHO

測量=数学? 数学が苦手でも大丈夫ですか?

測量士補試験では計算によって解答を求める問題が出題されますが、ほとんどが公式を使って解くことのできるものです。必要とされる数学的知識は高校1年生までのもので充分です。必要な公式を学び、計算ミスのないよう練習問題にあたる事で「数学が苦手」という方も十分に対応してゆくことが可能な試験です。



**測量技術のスペシャリスト
土地家屋調査士受験生
必須の国家資格**

学習ガイドンス(各分野の特長)

測量士補試験は、他の資格試験と異なり一定の得点(100点満点換算で計算をし、65点以上は必要)以上正解できれば合格できる試験です。そこで、各項目の特長をとらえ、得意分野をつくるのが合格への近道であるといえます。この測量士補試験に必要な各分野の特長と対策は、次のとおりです。

三角測量

三角測量とは比較的広い地域に基準点(三角点)を設置し、その成果(座標値、距離、方向及び標高など)を得るための測量のことで、その主な作業は選点、造標、水平角と高角度の観測及び計算作業となります。

多角測量

多角測量とは距離測定と角観測を行い、一連的な計算処理を行って基準点(多角点)の位置(座標値と標高)を決定するものであり、多角測量の学習は三角関数の基礎的内容を十分理解したうえで取り組んでいくことが大切です。

水準測量

水準測量とは大別すると直接水準測量、間接水準測量及び交互(渡河)水準測量に分類できますが、このうち間接水準測量は三角測量、多角測量及び地形測量で出題されており、ここではもっぱらレベル(水準儀)を用いる直接水準測量について出題されます。

地形測量

地形測量とは一般に平板による図根点測量と細部測量のことを指し、この出題範囲は比較的狭いものとなっています。平板測量は地表の地形と地物の平面位置や高さを測定して、これを幾何学的(相似的)に縮尺化して直接的に図紙上に図解していく方法であり、机上のみで学習される場合は現地作業を想像しながら測量方法を理解していくように心がけることが大切です。

写真測量

写真測量とは実務的に勉強していくことが難しく、苦手科目とする受験生が多い分野です。しかし、測量士補試験の出題そのものは、図化機による標定に関するもの以外はそう難しいものではなく、幾何学的性質(相似三角形の比例関係)によって解けるものが多く、基本を十分理解しておくことが大切です。

地図編集

地図編集に関する本試験問題は、国土地理院発行の5万分の1または2.5万分の1地形図のユニバーサル横メルカトル図法(UTM図法)と、国土基本図(2.5千分の1及び5千分の1)の平面直角座標系の投影法に関すること及び地形図の図式規程や利用法及び読図法に関して多く出題されます。

応用測量作業

応用測量には路線測量、河川測量、トンネル測量、森林測量、地積測量、体積(土地量)測量などのほか、いくつかの測量がありますが、測量士補試験における応用測量の出題作業 範囲は特に定まっていないため、どの程度まで勉強したらよいか見当をつけにくい面があります。最近10年程度の本試験問題を見ると、路線測量と河川測量に関するものが最も多く、次に体積計算、境界線の整齐等となっています。

測量士補試験受験についての問い合わせ 国土地理院ホームページ <http://www.gsi.go.jp/>

国土地理院総括部総務課	〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番	TEL 029-864-8214,8248
北海道地方測量部	〒060-0808 札幌市北区北8条西2丁目1番1 札幌第1合同庁舎	TEL 011-709-2311(内線4510)
東北地方測量部	〒983-0842 仙台市宮城野区五輪1-3-15 仙台第3合同庁舎	TEL 022-295-8611
関東地方測量部	〒102-0074 東京都千代田区九段南1-1-15 九段第2合同庁舎	TEL 03-5213-2051
北陸地方測量部	〒930-0856 富山市牛島新町11-7 富山合同庁舎	TEL 076-441-0888
中部地方測量部	〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館	TEL 052-961-5638
近畿地方測量部	〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-76 大阪合同庁舎第4号館	TEL 06-6941-4507
中国地方測量部	〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎	TEL 082-221-9743
四国地方測量部	〒760-0068 高松市松島町1-17-33 高松第2地方合同庁舎	TEL 087-861-9013
九州地方測量部	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-11-1 福岡合同庁舎	TEL 092-411-7881
沖縄支所	〒900-0022 那覇市樋川1-15-15 那覇第1地方合同庁舎	TEL 098-855-2595

測量士補試験受験案内

受験資格	年齢,性別,学歴,実務経験等に関係なく受験できます。
試験方法	筆記試験(五肢択一,マークシート方式)
試験日時	毎年5月の第3又は第4の日曜日(午後1時30分から午後4時30分まで)
願書受付期間	例年1月中旬より願書配布。2月中旬に受付をしています。
試験手数料	2,850円(手数料は変わることがあるので注意してください。)
受験票の受付	受験票は,4月下旬に受験者宛に送付されます。
合格者の発表	毎年7月中旬。合格者には合格証書が送付されるほか,ホームページにて受験番号が掲載されます。(http://www.gsi.go.jp/)

※測量士補試験についての詳しいお問い合わせは,右頁下の試験問い合わせ先まで。

受験願書は,受験願書提出先に持参し直接提出する方法と,郵送で提出する方法があります。

受験願書提出先は,

国土地理院総務部総務課 〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番 TEL 029-864-8214,8248

受験地(変更になる場合があるので要注意)

北海道・宮城県・秋田県・東京都・新潟県・富山県・愛知県・
大阪府・島根県・広島県・香川県・福岡県・鹿児島県・沖縄県
※実施する都市については,決定次第国土地理院のホームページ
上(http://www.gsi.go.jp/)で公開されています。



試験科目

三角測量作業	30秒読み程度のトランシットを用いる観測及びこれに伴う計算の作業とする。
多角測量作業	1分読み程度のトランシットを用いる観測及びこれに伴う計算の作業とする。
水準測量作業	感度40秒程度の水準儀を用いる観測及びこれに伴う計算の作業とする。
地形測量作業	平板,コンパス,トランシット等を用いる図根測量作業及び地形地物の測定作業とする。
写真測量作業	図解法及び機械法による作業とする。
地図編集	地図の投影を含む作業とする。
応用測量作業	応用測量作業

試験データ

年度	受験者数	合格者数	合格率
14年度	18,566人	2,237人	12.0%
15年度	17,102人	2,294人	13.4%
16年度	15,449人	3,844人	24.9%
17年度	13,189人	3,726人	28.3%
18年度	11,583人	2,716人	23.4%
19年度	11,052人	2,654人	24.0%

試験データを見ますと,近年合格率が一定しているように見えますが,測量士補試験は,他の国家試験と異なり100点満点換算で65点以上正解できれば合格する試験です。しかしながら,合格基準点が一定ではあるとは言っても,測量技術の高度化に伴い出題傾向にも変化が見られます。変化に対応できないと合格が難しい試験といっても過言ではありません。本学院には,そのような変化に対応できる講師陣・スタッフがいますので安心して,学習を進めることができます。



さあ、測量士補資格をとろう！

OUTPUT

本試験対策答練

全国公開模試

本試験

合格!!

■開講日程

- 本科
例年8月頃より毎月開講
- 最短合格講座／
レベルアップ問題演習講座
随時募集中
- 答練
例年2月より順次開講
- 全国公開模試
例年4月下旬5月上旬開講
- 本試験
例年5月中旬実施
※詳細は各校事務局へ

通信 最短合格講座

合格テキストと過去問マスターをメインに、学習を行います。やり方次第では、調査士とのダブル合格も可能です。教材構成もシンプルで6ヵ月で十分合格できる実力を養成できます。測量士補・土地家屋調査士両資格を同年度にダブル合格が可能であります。講座の方も、両資格とも同時に受講できます。

講座担当者より

測量士補を受験するほとんどの方が土地家屋調査士を受験します。土地家屋調査士講座とダブル合格する方も珍しくありません。



【受講期間】6ヵ月

【教材内容】学習ガイダンスビデオ、学習の手引き、合格テキスト3冊、過去問マスター、測量士補試験に必要な数学、提出課題6回、質問票、補助教材一式。

●AV教材(ビデオ各90分30巻・ビデオ付タイプのみ)、ほか。
※教材が一部変更になる場合があります。

通信 レベルアップ問題演習講座

測量技術の進歩に応じ出題内容も高度化して来ています。この講座では全7科目の問題編1冊と解説編7冊・解答用紙・問題別指導票1冊の計9冊の教材がセットになっています。各回15問計105問が出題されています。多くの合格レベルの基本的問題を解答し、実力を強化するのに最適の講座です。

●通信講座は毎月募集しています。

本試験対策答練[答案練習講座]

本試験を分析的確な出題傾向と合格レベルの予想問題を出题し、的を絞った効果的な学習ができます。

科目別の出題が各20問4回と全科目の全国公開模擬試験各28問を2回出題しますので学習の総整理・本番の予行演習にも効果的です。さらに詳しい解説書が付き、個人別成績表・全国統一成績表も配布しますので学習の励みになり実力が養成され、合格力が付きます。

〔開講〕

- ・東京校 4月～
- ・名古屋校 4月～
- ・大阪校 4月～
- ・福岡校 4月～
- ・通信教育開講 2月～

全国公開模擬試験

本番の予行演習を2回、本試験と同一出題数・時間で行います。得点力のアップや弱点对策が行えます。的確な合格レベルの予想問題の出題と詳しい解説書付です。答案はコンピュータで採点・分析し、個人別成績表・全国統一成績表と共に返却します。標準偏差や偏差値を明示してありますので合格到達度がわかり弱点对策ができ合格必勝を期します。

【実施日程】4月下旬～5月上旬(土又は日曜日)

【実施地】東京・名古屋・大阪・福岡・沖縄、他の地域は検討中。

※通信本試験対策答練を受講の方は、通学会場での振替受験もできます。

東京法経学院の講座のご案内

INPUT

通学

本科

通信

最短合格講座

レベルアップ
問題演習講座

●講師と対話しながら短期合格を目指す!!

通学 本科

測量士補本科(通学)クラスのカリキュラムは、過去の本試験を徹底分析し作成されています。測量士補資格の合格を目指される方は、この徹底分析した、ムリ・ムダのない、合理的な本学院のカリキュラムを信じ、勉強を進めていければ、自ずと短期合格が見えてきます。

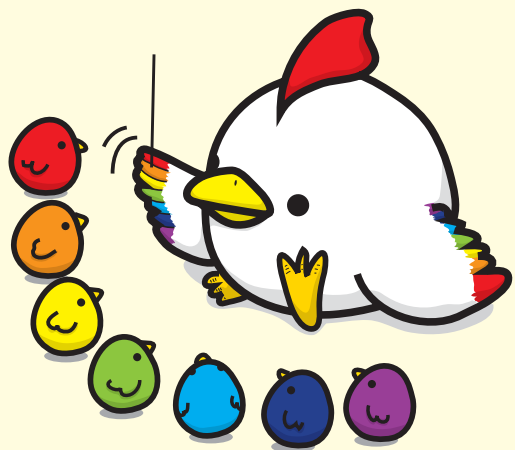
講座担当の講師は、測量士補試験を研究し尽くし、また、測量のプロでもあります。測量士補試験においては、実際の測量機器の名称、使用方法、測量の仕方等の問題が出ます。これらを教科書の図などを使用し学習することもできま

すが、実際に測量機器にさわって、測量を体験した方がより効率的に理解できます。また、測量と聞き、計算問題の心配をされる方がいるかも知れませんが、実際の数学の知識としては、高校1年生までの知識で十分対応できるものであり、覚える公式もそんなに多いわけではありません。講師が丁寧に教えますので、安心して講義を聴くことができます。また、分からないところもその場で質問できますので、疑問点を残さず学習を進めることができます。

無料体験入学実施中!!

*測量士補本科では、無料体験入学も実施しております。興味のある方は、1度聴講していただくことをお勧めします。

- 通学本科は毎年10月から3月まで行います。
 - 各校によって曜日・時間等が異なります。
 - 土地家屋調査士本科とパックのコースもあります。
- ※各校へご相談またはご確認のうえお申し込みください。



③過去問マスター(1冊)

測量士補試験に合格する1つの有効な手段は、過去に出題された本試験の問題内容を十分に検討することです。そして、その内容にあわせて項目ごとに基礎的あるいは専門的知識を身につけることが、重要なポイントになります。本教材は、これから測量士補試験を受験される方々に対して、系統的かつ効果的な勉強を可能とし、早期合格への一助となることを目的として作成してあります。

④通信DVD教材(通信教育のみ)

自宅にいながら通学と同じレベルの学習ができるためのオリジナルDVD教材を提供いたします。映像と音声を通すことによって、教室と同様の指導が受けられます。

⑤各種提出課題(通信教育のみ)

基礎知識をマスターした後の実力を診断するための本学院オリジナル教材です。この提出課題で、知識の最終チェックができます。

●オリジナルテキストの特長

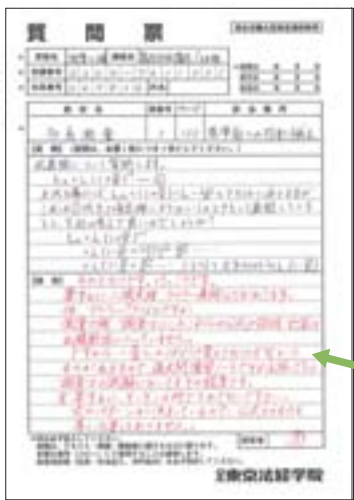


本文 本試験の傾向にそって初心者の方でも抵抗なく読み進めることができます。

複雑な機械の構造も図表を用いることですっきりと理解が可能！！

●徹底した添削指導！！ 通信教育のみ

東京法経学院では担当講師が「どこがわかり、どこがわからないのか」を的確に把握し、得点を伸ばすための指導をいたします。



- 添削は点数を表記するだけのものではありません。受講生が、どこがわかり、どこがわからないのかを確実に把握し、受験生個々に適切なアドバイスを送ります。
- 添削終了後、受講生の皆さんは復習とともに添削講師のアドバイスを身につけることで、ぐんぐん解答能力が上がります。

●添削は、機械的に行うのではなく、1人1人専任講師が行っていますので、1人1人に的確なアドバイスをすることができます。

短期合格を実現するオリジナルテキスト

東京法経学院の各テキストは、長年の受験指導で培ったノウハウと刻々と変化する試験の傾向を徹底分析しています。情報量のムダを省いた合理的な内容により、短期間で合格を目指すことができます。



※受講講座によりお渡す教材が変わってきます。

① 測量士補試験に必要な数学

測量を学ぶうえで数学は不可欠のものであり、数学の基礎知識のないまま測量を勉強することはできません。測量士補に必要な数学の主なものとしては、一次方程式、ピタゴラスの定理、平方根の解き方、比例式、図形、三角関数、正弦法則、余弦第二法則及び、ラジアンなどがあります。本テキストでは、測量士補を学ぶうえで最低限の数学知識を簡単にまとめています。まず本書で、最低限必要な数学の知識を身につけてください。

② 合格テキストI～III(3冊)

- 合格テキストI(測量概論・三角測量・多角測量)
- 合格テキストII(水準測量・地形測量・写真測量)
- 合格テキストIII(地図編集・応用測量・公共測量作業規程)

測量士補試験に必要な測量の知識について、測量科目ごとに解説しています。

第1章において、測量の基礎的理論と各科目に共通する測量の基準及び誤差などについて説明し、第2章から第8章では、測量科目ごとに重要事項をまとめています。

また、近年の本試験では、新しい測量技術並びに国土交通省公共測量作業規程に基づく出題が増えており、測量科目の基礎的学習に加え確認すべき事項として、これらの内容についても説明を加えています。

合格テキストの内容と構成は以下の通りです。

- 各章の冒頭では、「学習ガイダンス」として、科目ごとの学習方法と重要事項の位置づけについて説明しています。
- 各項目においては、まずその基礎的内容を説明し、さらに理解を深めるための基本演習とその解説を設けています。
- コンピュータを利用した解析図化機やデジタルマッピング、人工衛星を利用したGPS測量などの新しい測量技術に関しての理解を深めるため、GPS測量とトータルステーションについては合格テキストI「新しい測量技術」に、デジタルマッピングと数値地図編集などについては合格テキストIII「新しい地図編集技術」にまとめて収録しています。
- 公共測量作業規程の内容は、合格テキストIIIに収録しています。
- 付録として、合格テキストIIIの巻末に「三角関数真数表」「数学の公式集」「平面直角座標系」「測量法」を収録しています。

東京法経学院の特長

Melit



個別相談

東京法経学院では、これから資格試験の受験をお考えの方に対し、無料入学説明会を実施しています。お気軽にお電話のうえ、ご来校ください。

遠隔地で各校にご来校いただけない方には、お電話、FAX、E-mailによる受験相談も行っております。



振替出席制度

本学院の通学講座は、複数のクラスを開講しておりますので、万一、お申込みのクラスに出席できないときは、手続なしで別のクラスへの出席が可能です。

※振替受講は初心者講座(本科)に限ります。

※詳細は各校までお問い合わせください。



自習室

「自宅ではなかなか集中して学習を進めることができない」、「学習のためのスペースがほしい」という方のために、講義以外の時間でも自習室を使って学習をすることができます。

※曜日によって空室がなく、自習室をご用意できない場合がございます。あらかじめ各校にご確認ください。



無料体験入学制度

「講座受講を考えているけど、実際の講義を聴講したい」とお考えの方のために、授業の無料体験入学を実施しております。ご希望の方は、事前にご予約をいただいたうえでご来校ください。

※通学講座については、開講日の聴講をお勧めします。

※通信教育につきましては、各校にて教材見本(テキスト等)をご覧くださいことができます。



欠席者フォロー制度

本学院の通学講座(初心者クラス)は、ビデオ収録を行っています。講義に出席ができなかった場合には、この収録されたビデオで学習を進めていただくことができます。

※ビデオは、本学院のビデオ室でご覧いただけます。そのためビデオデッキの台数等の関係上、予約制となっております。



通信教育

勉強をしたいが通学することができない方、お近くに通学する学校がない方、フリータイムを活かして資格を取りたい方、マイペースで学習したい方…などに最適な通信教育。本学院は、昭和36年の創立以来、研究を重ねたノウハウと、受験生一人一人に合わせたきめ細かい指導で、多数の合格者を輩出してきた実績を持っています。

※詳細は、各校事務局にお尋ねください。



本試験に精通した講師によるフォロー体制

東京法経学院の測量士補講座は、試験対策に精通した経験豊かな講師が担当しています。このため、講義に対する疑問・質問・相談にも的確にお応えします。

※通信教育を受講されている方は、質問票で質問・疑問に的確にお答えいたします。

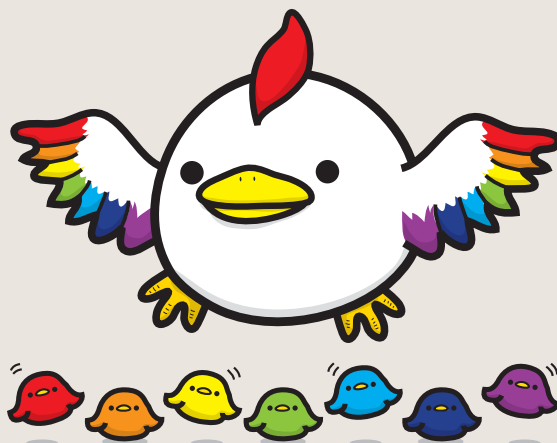


最新有力資格情報の提供

本学院は、法律に関する出版物を発行する出版業を併せて行っております。そのため、有力資格取得をめざされる方のための受験情報をいち早くお伝え出来るように受験雑誌のベストセラー「月刊不動産法律セミナー」をはじめ多くの書籍を発行しています。

もちろん受験生の一番気になる法改正情報もご提供しておりますので、安心して学習に取り組むことができます。

また、多くの受験指導校がある中で、本学院では受験の必須書である「六法」を用途に応じて発行しております。これも、法律に関する出版物の発刊をしている本学院だからこそできることなのです。



● 独学で学習される方へ、2つの書籍

測量士補 重要アイテム105



東京法経学院出版刊
3,990円(税込)

過去20年余の本試験問題の出題と傾向を徹底分析。その中から試験合格に必要な重要項目を厳選した、基本テキストの決定版です。各事項に基本演習や本試験問題を収録。

平成14年4月1日から測量法・測量法施行令の改正と国土交通省公共測量作業規程の改訂に対応!変更箇所の見直し、用語等の統一を図りました。

測量士補 過去問マスター



東京法経学院出版刊
3,360円(税込)

測量士補試験に合格する1つの有効な手段は、過去に出題された本試験の問題内容を十分に検討することです。そして、その内容に合わせて項目ごとに基礎的あるいは専門的知識を身につけることが、重要なポイントになります。本書は、系統のかつ効果的な勉強をしていただけるよう作成した過去問題集です。「測量士補重要アイテム105」等の基本書や参考書と一体的なものとして並列的に利用することで、より効果的な学習ができます。

● 書籍は、全国の書店にてご購入ください。本学院各校窓口にてもお求めになれます。弊社直接のお申込みは、ホームページ (www.thg.co.jp/) のオンラインショップをご利用ください。また、TEL・FAX・郵便にてもお申込みいただけます。

TEL.03-3364-2631 FAX.03-5337-6670

※定価等は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

測量士補に合格することで、 午後の部試験が免除になる 土地家屋調査士とは

土地家屋調査士とは、土地、家屋の規模・現状について、正確に調査・測量し、登記申請の業務を行う専門家です。境界確認の唯一の専門家として境界に関するトラブルの解決にも貢献しています。また、課税行政の資料の作成にも関与し、今後は、国土開発の分野でも大いに活躍できる公共性の高い仕事です。



測量士補・土地家屋調査士のダブル合格は可能か?

土地家屋調査士(以下調査士)試験の合格者の99%は午後の部の試験免除者(測量士・測量士補・建築士の有資格者)です。したがって、調査士試験を目指すなら、測量士補の試験に合格し、調査士の午前の部の試験のみを受験するのが短期合格への秘訣です。測量士補は5月、調査士は8月に毎年本試験が行われますが、両資格を同時に合格することは可能でしょうか?



結論的には十分可能!!

測量士補と調査士の試験内容に共通点があるという意味で同時合格は十分可能です。その共通点が調査士受験生の苦手な分野であり、測量士補の学習が調査士試験に生きてくるのです。特に平成7年度から調査士試験で関数電卓が使用可能になりました。これを使いこなすには、測量数学的な知識が前提になります。(ちなみに、測量士補試験は電卓の使用はできません。)さらに測量士補の講義内容にも調査士試験対策が反映されています。

また、測量士補・調査士のダブル合格を目指すにあたり、一番難しいのは学習時間の配分です。調査士の学習に集中して、測量士補の学習がおろそかになり、結果的に両資格を落とすことになっては元も子もありません。つまり、試験内容・時期にあった学習方法のバランスが必要になります。学習時間を作り出すことは難しい場合もあるでしょうが、いかにして効率よく学習し、実力をつけていくなかでダブル合格のポイントになります。

例年何人もを受講生が見事ダブル合格を実現しています。あなたも東京法経学院の講座を受講して、測量士補・調査士のダブル合格にぜひともチャレンジしてください。

土地家屋調査士の詳細は、別途パンフレットをご請求になるか、本学院各校までお問い合わせください。また、本学院ホームページ(www.thg.co.jp/)にて、最新情報を掲載しています。

ホームページ
アドレス

<http://www.thg.co.jp/>

資格に関する情報から、本試験合格のための情報・出版案内・通信・通学の学校案内など受験生のための情報をいち早く公開しております。また、学習相談コーナーでは、皆様のお声をお待ちしております。

なお、E-mailでもご意



見・お問い合わせ・ご相談の他直接宅配サービス等のお申込みも受け付けております。

E-mailアドレスは下記のとおりです。

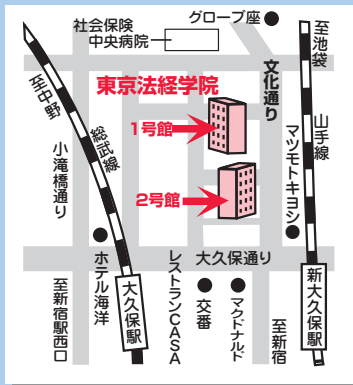


info@thg.co.jp

最寄りの各校へお気軽にお電話ください。

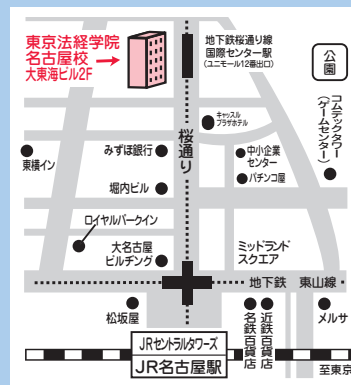
東京
本校
通信
教育

〒169-8505
東京都新宿区百人町2-9-13
TEL 03(3371)2741(代)
FAX 03(3360)1724
●新大久保駅2分



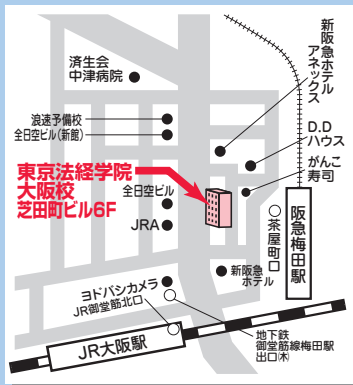
名古屋
校

〒450-0002
名古屋市中村区名駅3-22-8 大東海ビル2F
TEL 052(583)1161(代)
FAX 052(583)9588
●名古屋駅7分



大阪
校

〒530-0012
大阪市北区芝田1-4-14 芝田町ビル6F
TEL 06(6373)1401(代)
FAX 06(6373)1405
●梅田駅2分



福岡
校

〒810-0003
福岡市中央区春吉3-21-21 春野ビル3F
TEL 092(751)5866(代)
FAX 092(771)6735
●天神駅3分

